

2023年10月20日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

まるごとひふみ15／まるごとひふみ50
運用責任者からのメッセージ

いつもまるごとひふみをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

足もとで基準価額の下落が続いており、お客様にはご心配をおかけしていることをお詫び申し上げますとともに、運用責任者からのメッセージをお伝えいたします。

● 基準価額が低調である原因

まるごとひふみ15とまるごとひふみ50は、「ひふみ投信マザーファンド」、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」（以下、ひふみワールドファンド）、「ひふみグローバル債券マザーファンド」の3つを、それぞれ異なる割合で組み入れています。

2022年以降、各投資対象ファンドの寄与度は以下のようになっています。

	まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
基準価額 騰落率	-13.21%	-7.39%	1.18%
寄与度			
ひふみ投信マザーファンド	0.13%	0.44%	0.89%
ひふみワールドファンド	0.39%	1.30%	2.61%
ひふみグローバル債券マザーファンド	-12.78%	-7.52%	0.00%
その他	-0.96%	-1.62%	-2.31%

（期間）2021/12/30～2023/10/19

（注）寄与度：各投資対象ファンドの騰落率と基本組入比率を掛け合わせて算出。その他は残差。

上記のように、この期間はひふみグローバル債券マザーファンドが足を引っ張る形で基準価額を押し下げました。したがって、本レポートでは特にひふみグローバル債券マザーファンドに焦点を当ててお伝えします。

● 債券の本来の魅力や役割

債券の基本的な性質としては、株式に比べて値動きが小さく、また株式とは異なる方向に値動きするケースが多いため、ファンド全体のリスクを抑えることが期待できます。そのため、当ファンドは、あまり大きなリスクを取りたくないお客様や、はじめて投資の第一歩を踏み出すお客様に適した商品だと考えています。

また、当ファンドは信託期間が無期限なので実感しづらいですが、債券には満期があり、満期時点で発行体がデフォルト（債務不履行）していなければ額面金額が戻ってきて、なおかつ利息の支払いが受けられる「見通しの良さ」という、株式にはない魅力があります。さらに、景気が悪くなる時のほうが、逆にパフォーマンスが良くなるという債券の傾向も、お客様のポートフォリオをサポートしてくれます。

- 債券のパフォーマンスが低調である原因

2022年、世界の国債価格は、手元でデータの取れる1987年以降最も下落した年になりました。また、株安と債券安が同時に起き、これは米国で見ると1994年以来28年ぶりの出来事でした。

2023年も世界の国債価格は下落しており、このままいくと初めて3年連続で下落することになります。

債券の価格が下がったということは、すなわち金利が上がったということです。

2022年3月から、米国の中央銀行に相当するFRB（連邦準備制度理事会）は、過去に例のないペースで政策金利を大きく引き上げてきました。背景には、約40年ぶりの高いインフレ率を抑える目的があります。類を見ない強硬な金融引き締めにより金利は大きく上昇、すなわち債券は大きく売られました。

現在では利上げのピークは過ぎたものの、今度はその高水準の政策金利をいつまで維持するかということに焦点が移り、これが長引いて後ずれしている状況です。

日本においても、現状はまだマイナス金利など緩和的な金融政策が続いていますが、物価や賃金の動きに変化が見られています。そこに歴史的な円安なども相まって、日銀は早ければ今年度内、中心的な見方では来年度のどこかでは政策を正常化し、緩和的な政策を解除するのではないかと、という予想が高まっています。結果的に、日本の長期金利も少しずつ上昇しています。

- ひふみグローバル債券マザーファンドの運用で取り組んだこと

米国を中心としたインフレの度合いが高まることや、政策金利の急ピッチでの引き上げと高い政策金利が長く維持される可能性があること、また日本でのYCC（イールドカーブコントロール）柔軟化やマイナス金利解除が予想されることに対し、ひふみグローバル債券マザーファンドではいくつかの対応を行ってきました。

例えば、残存期間の短い債券では、政策金利上昇の影響を受けやすくなるため、期間の長い20年や30年といった国債保有を行ないました。FRBが公表する経済見通しでは、将来的に景気が落ち着いた状態での政策金利は2.5%が妥当であるという見方です。他方で、足もとの政策金利は5.25~5.50%、20年金利は5.32%、30年金利は5.09%といった非常に高い水準です。

仮に、10年後からさらに先の10年間、もしくは、20年後からさらに先の10年間の政策金利が2.5%近辺であるならば、今の20年金利や30年金利には、妥当な水準より余計に高い金利が織り込まれていることとなります。

つまり、政策金利が引き上げられても、超長期の金利は上がりにくい（価格が下がりにくい）ことや、反対に利下げが行なわれたときには超長期の金利も低下していく（価格が上がっていく）ことが期待できます。

これは、日本の国債においても同様と考えられます。

その他にも、変動利付債という、金利上昇時に有利になる債券を組み入れたことや、社債のスプレッドが広がった（割安になった）タイミングでは利回りの高い社債を組み入れて、為替ヘッジをしてもプラスのリターンを得やすい効果を狙うことなどを行ないました。

さらに、日本では金融政策決定会合が開催される前に、先物売り建てしておくことによって、実際にYCCの柔軟化が行なわれたり、金利が上昇したりする局面では、損失を限定させることも行ないました。

● 最後に、当ファンドを長期保有していただく意味

債券の利回りは、過去40年ほどに渡り、ずっと低下トレンドを辿ってきました。特に2010年代からコロナ禍前半においては、ほとんど金利が無いといえる状況となりました。

しかし、ここへきてそのトレンドが変わり、ようやく金利のある状況になっています。つまりさまざまな債券において、投資をする価値や魅力が高まっています。

金利上昇がピークを迎えて落ち着き始めれば、その高い利回りに投資家の目は向くでしょう。

株式と比べても、債券利回りの魅力は高まっています。米国の国債が5%近い利回りで買える水準です。

もちろん為替のリスクがありますし、そのリスク回避のために為替ヘッジを行なって、ヘッジコストの負担も増えているわけですが、こうした短期金利の高止まりや高水準のヘッジコストが、永遠に続くわけではありません。

歴史的な円安水準を鑑みても、為替ヘッジをして投資をする意味はあると考えています。

こうした足もとのコストをもうしばらく我慢できれば、今の利回りの高い債券は将来価値があるものになると考えられます。

場合によっては、米国などで景気後退が起きたり、インフレが早いペースで鈍化したりした場合には、今の利回りはさらに魅力的になります。

当社では、国内外の国債や社債のプロフェッショナルによって銘柄選別することはもちろん、株式のファンドマネージャーとも協働して議論し、経済やマーケットに対してより深い考察や将来見通しを得ることに努めています。

世界の潮流が変わり、マーケットの変動性が高まる時代にこそ、こうしたアクティブで柔軟なアプローチが必要だと考えます。

レオス運用チームの総力を結集した当ファンドは、長期的にお客様の資産形成に資するものと信じています。これからも当ファンドを厳しくも温かく見守っていただけますと幸いです。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。

【ひふみグローバル債券マザーファンド：ファンドマネージャー福室のコメント（直近の下落に関して）】

米ドル債主導で世界的に金利が上昇し、債券価格が低下しています。現在の米国債長期金利の上昇の第一の要因は、財政赤字の増加による国債発行量の増加で、それに見合った買い手が見つかりづらく、需給バランスが崩れてしまっています。第二に、5%超への急速な短期金利利上げにもかかわらず、実態経済が強いことです。景気が良いときは通常であれば税収も多くなり財政赤字は縮小しますが、現在はコロナや戦争への拠出もあり、むしろ赤字幅は拡大しています。

一方で、ここ数年の最大の懸念であったインフレ率は下落基調にあり、今回の長期金利の上昇もインフレ要因以外の部分（実質金利は10年金利で2.5%程度まで上昇）によるものになっています。

日本国債の金利も上昇していますが、依然として低金利であり、インフレ率を超える収益を期待できる状況ではありません。我々は日本国債に関してはリスクベースで30%程度ヘッジしていますが、米国債に関しては現状のプライシング、特にインフレ率からの上乗せ幅が十分（現状2.5%程度）ある点に魅力を感じています。これは2007年以来の高水準であり保有する価値が十分あると考えています。

まるごとひふみファンドマネージャー
橋本 裕一

「まるごとひふみ」に係るリスクについて

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式や債券など値動きのある証券（外国の証券には為替変動リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、投資対象とする投資信託証券においては組入有価証券を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	投資対象とする投資信託証券において外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークス（以下「当社」といいます。）が投資家のみなさまに情報提供を行なう目的で作成したものです。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 当資料のコメント等は、掲載時点での当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではなく、また、金融商品等の売却・購入等の行為の推奨を目的とするものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



● RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

電話：03-6266-0129

受付時間：営業日の9時～17時

ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>

お客様の負担となる費用について

◇直接ご負担いただく費用

申込手数料：**3.30%（税抜3.00%）を上限**として、販売会社が定める料率とします。

「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 下記に記載の信託報酬率 を乗じて得た額 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または 信託終了のときファンドの信託財産から支払われます。			
	運用管理費用の配分			
		まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
	信託報酬率	年率 0.660% (税抜年率 0.600%)	年率 0.935% (税抜年率 0.850%)	年率 1.320% (税抜年率 1.200%)
支払先 (税抜) の配分	委託会社	年率0.290%	年率0.415%	年率0.590%
	販売会社	年率0.290%	年率0.415%	年率0.590%
	受託会社	年率0.020%	年率0.020%	年率0.020%
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。				
投資対象とする投資 信託証券	投資対象ファンドにおける運用管理費用 純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額			
		まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100
	ひふみワールドファンドFOFs用 (適格機関投資家専用)	年率0.00264% (税抜年率0.00240%)	年率0.0088% (税抜年率0.0080%)	年率0.0176% (税抜年率0.0160%)
※ 上記は投資対象ファンドを基本の組入比率に従って組み入れた場合の運用管理費用（信託報酬）です。この値は目安であり 実際の組入状況により変動します。 ※「ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」は、運用管理費用（信託報酬）がかかりません。				
実質的な 負担	純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額			
	まるごとひふみ15	まるごとひふみ50	まるごとひふみ100	
	年率 0.66264%程度 (税抜年率 0.60240%程度)	年率 0.9438%程度 (税抜年率 0.8580%程度)	年率 1.3376%程度 (税抜年率 1.2160%程度)	
※ 基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬 率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資 対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。				
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見 直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払 われます。			
その他費用・ 手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸 費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、 予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。			

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第49号	○		○	
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関 北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名	登録番号	登録金融機関	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3186号	○			
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第191号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3186号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第36号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団法 人第二種金 融商品取引 業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Jトラストグローバル証券株式 会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
長野証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第125号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○